

講義コード	11C0115203	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	統計学基礎C					小林 幹		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	<p>統計学は、大量のデータの中に存在する法則性を扱う分析手法である。急速に情報化が進化した現代社会においては、多種多様かつ大量なデータを処理し、選別する能力が以前にも増して望まれている。</p> <p>本講義では、統計学の役割や主要な概念、基本的な分析手法について学習する予定である。また、履修者が簡単なデータ解析の手法を習得できるよう、幅広い応用例を紹介しながら、講義だけでなく問題演習なども行ってゆく。</p>								
到達目標	<p>平均値、中央値、分散、標準偏差、変動係数の計算ができる。</p> <p>基礎的な確率の計算ができる。</p> <p>確率分布の概念を理解できる。</p> <p>母集団と標本の概念を理解できる。</p>								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	<p>この科目では、60時間以上の授業外学修を行うこと。</p> <p>各回の授業で取り扱う内容について、事前に教科書を読んでくること。</p> <p>授業時に提示する練習問題を必ず実際に解いてみること。</p>								
授業計画	<p>【第1回】 統計学の必要性</p> <p>【第2回】 母集団と標本</p> <p>【第3回】 統計学に必要な数学の基礎</p> <p>【第4回】 度数分布表とヒストグラム</p> <p>【第5回】 平均値、中央値、最頻値</p> <p>【第6回】 分散、標準偏差、変動係数</p> <p>【第7回】 確率とは</p> <p>【第8回】 順列・組み合わせ</p> <p>【第9回】 基礎的な確率の計算</p> <p>【第10回】 確率変数と確率分布</p> <p>【第11回】 確率分布の平均値（期待値）</p> <p>【第12回】 確率分布の分散、標準偏差</p> <p>【第13回】 二項分布</p> <p>【第14回】 正規分布</p> <p>【第15回】 まとめ</p>								
成績評価の方法	第1回目の授業時に指示する。								
フィードバックの内容	授業中に小テストの解説を行う。								
教科書	『統計解析入門〔第2版〕』 篠崎信雄・竹内秀一（サイエンス社）2009年								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	<p>授業時には、毎回ルート（<math>\sqrt{\quad}</math>）の計算機能が付いた電卓を持参して下さい。</p> <p>期末試験を受験する際にも電卓が必要になります。</p>								
オフィスアワー その他	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。								